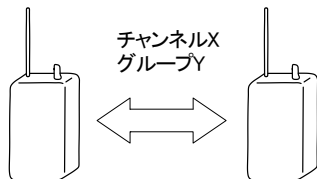


すぐにつながる「ACSH(アクシュ)」機能

ACSH機能を使えば、チャンネルとグループ番号を自動設定できます。

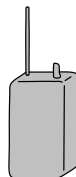
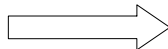
既に使用している特定小電力トランシーバー 設定もと(設定済み)



弊社製品および他社製品

本機(追加導入)

電波を検出し
自動設定します



本機の電源を切った状態で、GROUP (SET/E) キーを押しながら電源を入れます。

ディスプレイにチャンネルが表示されますが、「ピピピピッ」という音が鳴り、表示が「ACSH」という文字の点滅に変わるまでGROUP (SET/E) キーをそのまま押し続けます。(約7秒間)

ACSH



設定もとのトランシーバーを送信状態にします。



本機が電波の検出を開始します。このまましばらくお待ちください。数秒から最長2分程度を要することがあります。



電波を検出すると、「ピピッ」と音が鳴り、ディスプレイに「ACSH-rn」と表示されます。設定もとのトランシーバーは送信状態にそのまま、しばらくお待ちください。

ACSH-rn



自動設定が完了すると「プルルルル」と音が鳴り、ディスプレイに「000000」と表示されます。

000000



設定もとのトランシーバーの送信を停止してください。



本機は自動的にキーロックが設定され、再起動します。

既に使用している設定もとのトランシーバーと通話できることを確認してください。

※ 同時通話には対応していません。半複信中継器が発する電波を検出するときは外来電波による誤検知を防ぐため中継器の近くでおこなってください。

※ 詳細は弊社ホームページをご覧ください。

<https://www.alinco.co.jp/> > 製品情報 > 通信技術 > ダウンロード

PF0383